

暹羅に於て鐵鑛は黃鑛鐵として廣く散在せり褐鐵鑛として有名なる地は Pichai の北東 Nam Pi 溪谷附近又は北暹羅に於ける Lakhon 地方なり。

赤鐵鑛としては Chieng Kan に出現せり。

Chieng Kan に於ける赤鐵鑛層は可なり地域に擴かれり又 Nam Pi 及 Lakhon の褐鐵鑛層は過去に於て稼行せられたることあり要するに其鑛量等に就ては明ならず。

#### (ト) 比律賓に於ける鐵鑛分布

Luzon 島に鐵鑛の存在せることは以前より知悉され Tar-Infanta 州東部境界を形成せる山脈に鐵鑛を産し土人は之を原料として小規模の製鐵業を營み居れり。

鐵鑛は一般に蛇紋石と結合して出現し赤鐵鑛又は磁鐵鑛よりなる鑛量は精密なる測定は不可能とするも大略五十萬乃至八十萬噸と見れば大差なかるへしと云ふ。

又ルゾン島の北東沿岸の マムビエラオ附近に赤鐵鑛を産す其質良好にして鑛量も大なりと云ふ

#### (チ) 英國領土に於ける鐵鑛分布

(錫蘭、海峽殖民地、マレー諸島、英領北ボルネオ及ヒサラワツクの鐵鑛分布)

#### 1. 錫蘭

鐵鑛床の著名のものは Ampitiya, Hanguanketa 及ヒ Nuwara Eliya, Bodulla, Bandarawela 周囲の地方各所に存在せるものなれとも分布状態甚だ不規則にして且つ輸出する程の量を産せず Nuwara Eliya より二哩半の地點 Central Province の Ambavella に至る街道に於ての赤鐵鑛は 50.6 パーセントの鐵を含有せり又 Uva Province の Bandarawela 附近 Gonamutawa Estate よりの不純 Limonite は 48.1 パーセントの鐵を含くみ Central Province の Sri Pada Kota に於けるものは 55.6 パーセントの鐵を含めり。

#### 2. 海峽殖民地及馬來聯邦